
2019年 3月期 決算説明会 資料

2019年 5月23日

東亜建設工業株式会社

【目次】

- 1-1). 2019年 3月期 決算結果
- 1-2). 事業分野別 受注実績(単体)
- 1-3). 事業分野別 売上高・損益実績(単体)
- 2-1). 2020年 3月期 業績見通し
- 2-2). 事業分野別 受注見通し(単体)
- 2-3). 事業分野別 売上高・損益見通し(単体)
- 3. 2019年 3月期 主な完成工事
- 4. 2019年 3月期 主な受注工事
- 5. 最近のトピックス

1-1) 2019年 3月期 決算結果

(単位: 億円、%)	2018年3月期		2019年3月期				対前期増減	
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比	連結	単体
受注高	-	1,462	-		2,154	47.3%		691
売上高	1,610	1,523	1,736	7.9%	1,672	9.8%	126	149
売上総利益	130	116	146	12.2%	125	8.2%	15	9
売上総利益率	8.1%	7.6%	8.4%		7.5%		0.3	△ 0.1
一般管理費	101	91	106	4.8%	96	5.3%	4	4
一般管理比率	6.3%	6.0%	6.1%		5.8%		△ 0.2	△ 0.2
営業利益	28	24	39	38.2%	29	19.0%	11	4
営業外収益	3	3	4	12.7%	4	14.3%	0	0
営業外費用	5	4	4	△ 15.0%	4	△ 10.4%	△ 0	△ 0
経常利益	27	23	39	45.3%	29	24.1%	12	5
特別利益	0	0	5	541.9%	5	815.6%	4	4
特別損失	2	1	1	△ 19.6%	1	4.2%	△ 0	0
税引前利益	25	22	42	67.1%	32	45.1%	17	10
当期純利益	17	17	30	75.5%	24	43.8%	13	7

※連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」

純資産	-	602	-		609	1.2%	-	7
ROE	-	2.9	-		4.1		-	1.2

■ 業績数値

- 受注（東亜単体 2,154億円）
- 売上高（連結 1,736億円、単体 1,672億円）
 - ・ 東亜単体の売上高増加により、連結売上高も増加。
- 売上総利益
 - ・ 東亜単体の工事利益の増加により、前期比で増加。
- 販売費及び一般管理費
 - ・ 連結・単体とも、前期比で増加。
- 当期純利益（連結 30.7億円、単体 24.7億円）
 - ・ 連結・単体とも、前期比で増加。

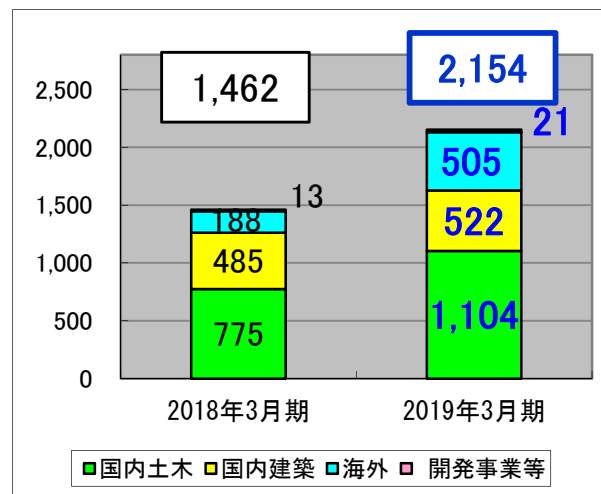
■ 財務数値

- 純資産（単体 609億円）
 - ※中期経営計画の目標値【参考】
(2019年度までに 単体で650億円)
- ROE（単体 4.1%）
 - ※中期経営計画の目標値【参考】
(2019年度までに 単体で5.0%)

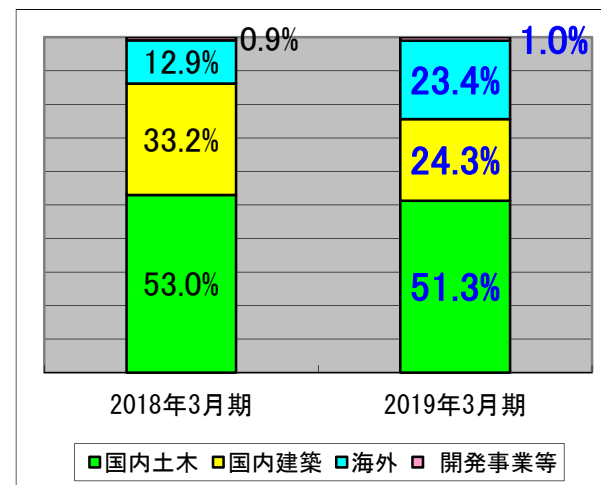
1-2) 事業分野別 受注実績 (単体)

受注高 (単位:億円)		2018年 3月期 実績	2019年3月期	
			実績	前期比
国内土木	官庁	524	893	70.3%
	民間	250	211	△15.5%
	計	775	1,104	42.6%
国内建築	官庁	25	91	263.1%
	民間	460	430	△6.4%
	計	485	522	7.7%
国内計		1,260	1,627	29.1%
海外	土木	171	487	183.7%
	建築	17	17	4.1%
	計	188	505	167.5%
	土木	946	1,592	68.2%
	建築	502	540	7.5%
	建設事業計	1,449	2,132	47.2%
開発事業等		13	21	61.1%
合 計		1,462	2,154	47.3%

■受注 実績比較(受注額)単位:億円



■受注 実績比較(シェア)



□ 受注高 (2,154億円、前期比 47.3%)

・目標値 1,700億円。

■ 国内土木 (1,104億円、前期比 42.6%)

- ・官庁土木は、複数の大型陸上工事の受注などにより、大幅増。
- ・民間土木は、エネルギー関連や陸上工事を受注するも、前期比で減少。

■ 国内建築 (522億円、前期比 7.7%)

- ・官庁建築は、給食センターや第三セクター案件の受注により、大幅増。
- ・民間建築は、得意の冷蔵倉庫・住宅に加え福祉施設などで受注を重ねる。

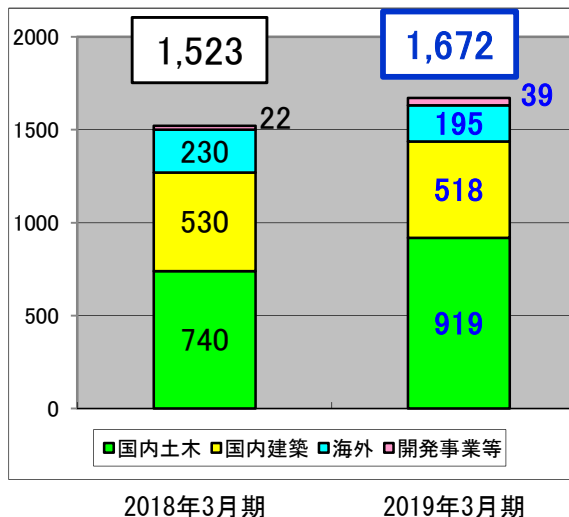
■ 海外 (505億円、前期比 167.5%)

- ・大型工事の受注により、期首目標値を達成。

1-3) 事業分野別 売上高・損益実績（単体）

売上高 (単位: 億円)	2018年 3月期 実績	2019年3月期 実績	前期比
国内土木	740	919	24.2%
国内建築	530	518	△2.2%
国内計	1,270	1,438	13.2%
海外計	230	195	△15.1%
海外土木	194	162	△16.7%
海外建築	35	33	△6.3%
建設事業計	1,500	1,633	8.9%
開発事業等	22	39	75.0%
合計	1,523	1,672	9.8%

■ 売上高 実績比較 単位: 億円



□ 売上高 (1,672億円、前期比 9.8%)

■ 国内土木 (919億円、前期比 24.2%)

・ 受注額の増加と手持ち工事の順調な進捗により、大幅増。

■ 国内建築 (518億円、前期比 △2.2%)

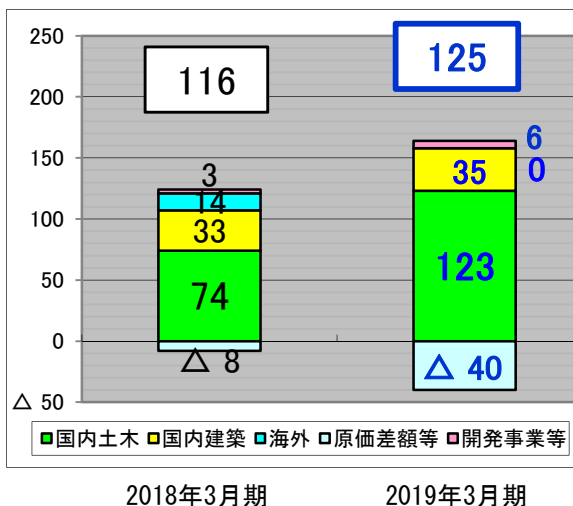
・ 繰越工事の減少などにより、前期比減。

■ 海外 (195億円、前期比 △15.1%)

・ 繰越工事の減少により、前期比減。

売上損益 利益率 (単位: 上段-億円、 下段-%・ポイント)	2018年 3月期 実績	2019年3月期 実績	前期比
国内土木	74 10.0%	123 13.4%	66.3% 3.4
国内建築	33 6.2%	35 6.9%	7.8% 0.7
国内計	107 8.4%	158 11.1%	48.3% 2.7
海外	14 6.2%	0 0.3%	△95.9% △5.9
原価差額等	△8	△40	
建設事業計	112 7.5%	119 7.3%	5.6% △0.2
開発事業等	3 16.3%	6 17.7%	90.2% 1.4
合計	116 7.6%	125 7.5%	8.2% △0.1

■ 売上損益 実績比較 単位: 億円



□ 売上損益 (125億円、前期比 8.2%)

■ 国内土木 (123億円、前期比 66.3%)

・ 売上高の増加と利益率の上昇により、大幅増。

■ 国内建築 (35億円、前期比 7.8%)

・ 利益率の上昇により、売上高の減少を補って、増益。

■ 海外 (0.5億円、前期比 △95.9%)

・ 売上高の減少に加え、利益率の低下により、大幅減。

2-1) 2020年 3月期 業績見通し

(単位: 億円、%)	2019年3月期		2020年3月期				対前期比増減	
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比	連結	単体
受注	-	2,154	-		1,770	△ 17.8%	-	△ 384
売上高	1,736	1,672	1,840	5.9%	1,770	5.8%	103	97
売上総利益	146	125	174	19.1%	157	24.6%	27	31
売上総利益率	8.4%	7.5%	9.5%		8.9%		1.1	1.4
一般管理費	106	96	111	4.5%	102	5.6%	4	5
一般管理比率	6.1%	5.8%	6.0%		5.8%		△ 0.1	0.0
営業利益	39	29	63	58.3%	55	87.4%	23	25
営業外収益	4	4	3	△ 17.5%	4	△ 7.1%	△ 0	△ 0
営業外費用	4	4	5	19.4%	5	18.6%	0	0
経常利益	39	29	61	54.7%	54	83.4%	21	24
特別利益	5	5	0	△ 98.1%	0	△ 98.1%	△ 5	△ 5
特別損失	1	1	1	△ 42.6%	1	△ 34.0%	△ 0	△ 0
税引前利益	42	32	60	40.4%	53	60.9%	17	20
当期純利益	30	24	39	26.9%	35	41.3%	8	10

※連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」

純資産	-	609	-	2019年度迄に650億円		
ROE	-	4.1	-	2019年度迄に5%		

■業績数値

- 受注（東亜単体 1,770億円）
- 売上高（連結1,840億円、単体1,770億円）
単体の受注は減少。連結・単体とも増収。
- 売上総利益
売上高の増加に伴い増益。
- 販売費及び一般管理費
連結・単体とも増加。
- 営業利益、経常利益
営業利益、経常利益ともに売上総利益の増加を受け増益。
- 当期純利益
連結・単体とも増益。

■財務数値

- 純資産
2019年度迄に単体で650億円。
- ROE
2019年度迄に単体で5%。

2-2) 事業分野別 受注見通し(単体)

受 注		2019年 3月期	2020年3月期	
(単位: 億円)		実績	見通し	前期比
国内土木	官庁	893	594	△33.5%
	民間	211	244	15.1%
	計	1,104	838	△24.2%
国内建築	官庁	91	82	△10.8%
	民間	430	438	1.7%
	計	522	520	△0.5%
国内計		1,627	1,358	△16.6%
海外	土木	487	355	△27.2%
	建築	17	45	152.7%
	計	505	400	△20.8%
	土木	1,592	1,193	△25.1%
	建築	540	565	4.5%
建設事業計		2,132	1,758	△17.6%
開発事業等		21	12	△44.6%
合 計		2,154	1,770	△17.8%

□受注高 (1,770億円、前期比 △17.8%)

■ 国内土木

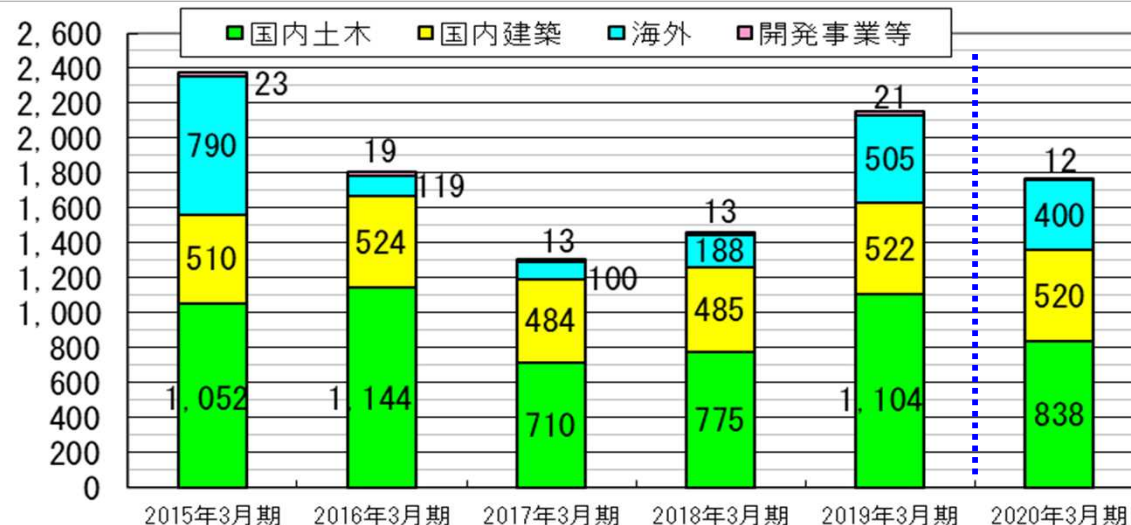
- ・ 官庁土木は、引き続き、総合評価落札方式の対応強化を図る。
(特に大型プロジェクトに注力)
- ・ 民間土木は、関西空港、鉄道関連などに注力。

■ 国内建築

- ・ 官庁建築は、収益性や要員を念頭に、案件を選別して取り組む。
- ・ 民間建築は、設計施工案件・特命案件・企画提案案件に注力。

■ 海外

- ・ 引き続き、アジア諸国(シンガポール等)・中東・アフリカの港湾施設に注力。営業エリア(バングラディッシュ等)と工種を拡大。



2-3) 事業分野別 売上高・損益見通し(単体)

売上高 (単位: 億円)	2019年 3月期	2020年3月期	
	実績	見通し	前期比
国内土木	919	900	△2.1%
国内建築	518	525	1.2%
国内計	1,438	1,425	△0.9%
海外計	195	320	63.7%
土木	1,081	1,204	11.3%
建築	551	541	△2.0%
建設事業計	1,633	1,745	6.8%
開発事業等	39	25	△36.0%
合計	1,672	1,770	5.8%

□売上高 (1,770億円、前期比 5.8%)

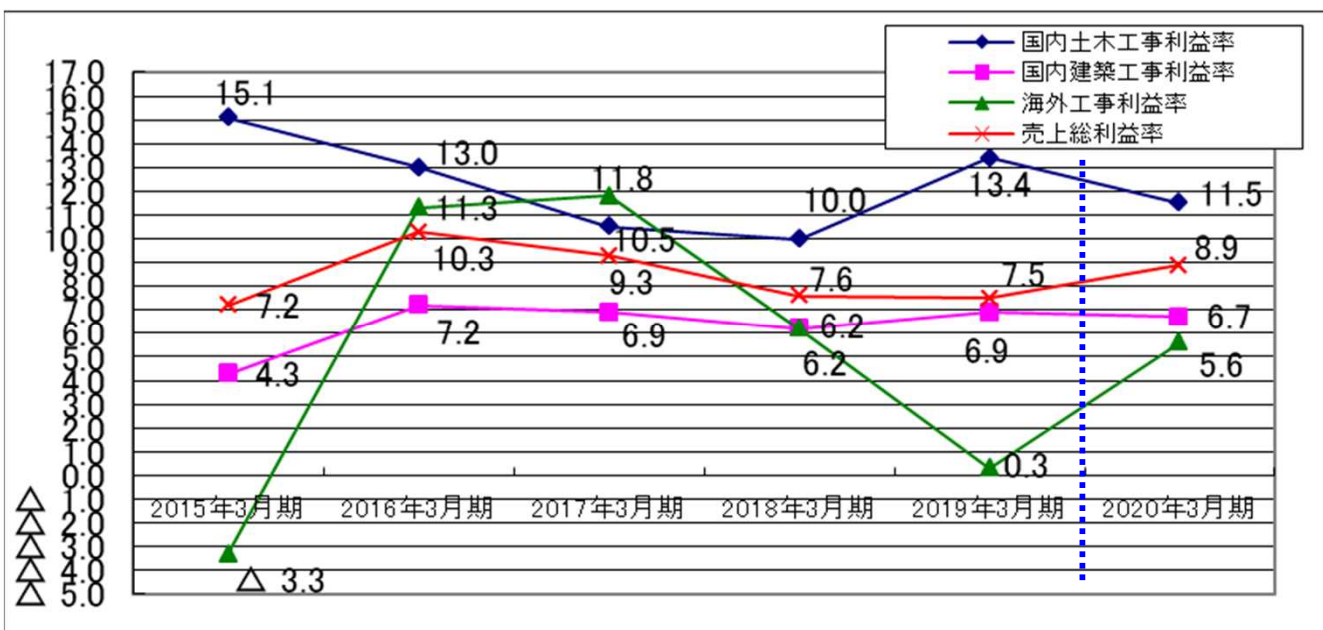
- 国内土木 受注額の減少に伴い、前期比減。
- 国内建築 手持ち工事の順調な進捗により、前期比増。
- 海外 繰越工事の増加により、前期比大幅増。

□売上損益 (157億円、前期比 24.6%)

- 国内土木 売上高と工事利益率の低下により、前期比減。
- 国内建築 売上高は増加するも、工事利益率がわずかに低下し、前期並み。
- 海外 売上高の増加により、工事利益率も回復し、前期比大幅増。

売上損益 利益率 (単位: 上段-億円、 下段-%、ポイント)	2019年 3月期	2020年3月期	
	実績	見通し	前期比 増減
国内土木	123 13.4%	103 11.5%	△16.3% △ 1.9
国内建築	35 6.9%	35 6.7%	△1.3% △ 0.2
国内計	158 11.1%	138 9.7%	△12.9% △ 1.4
海外	0 0.3%	18 5.6%	- 5.3
原価差額等	△ 40	△ 6	
建設事業計	119 7.3%	150 8.6%	26.1% 1.3
開発事業等	6 17.7%	6 27.8%	0.4% 10.1
合計	125 7.5%	157 8.9%	24.6% 1.4

■過去5年の利益率の推移と2020年3月期の見通し



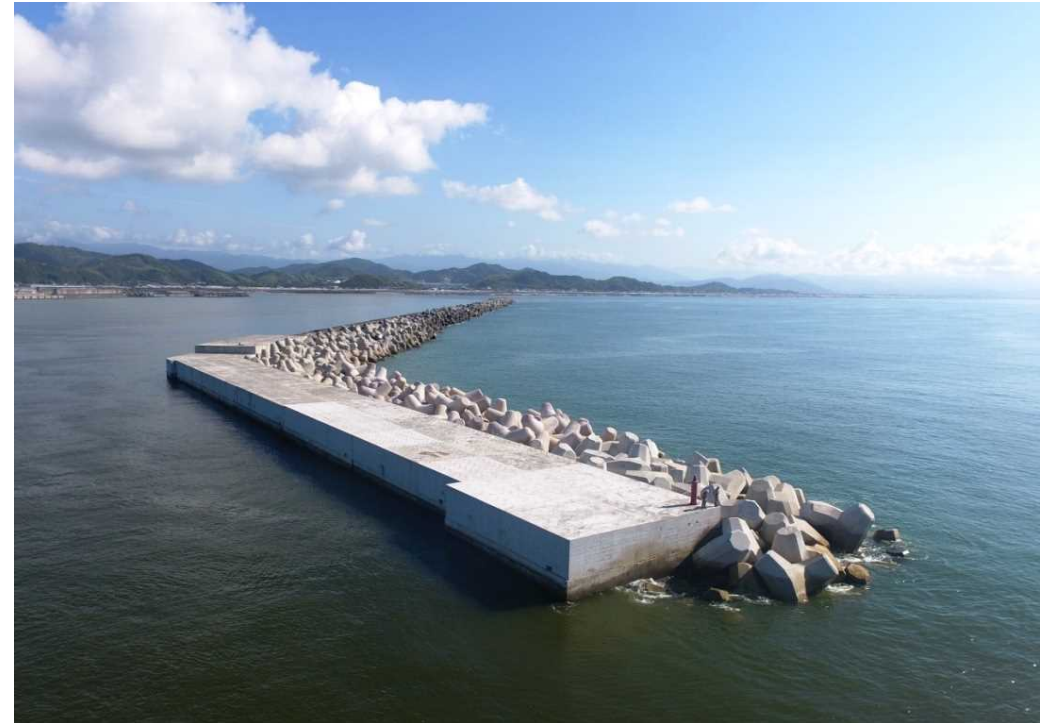
3-1). 2019年3月期 主な完成工事(土木)

■東北地方最大の「斜張橋」となる橋脚工事

工事名：国道45号 気仙沼湾横断橋松崎地区
下部工工事

発注者：国土交通省東北地方整備局

工 期：2015年4月～2018年12月



■高知新港のケーソン式防波堤を施工

工事名：高知港三里地区防波堤（東第一）築造工事

発注者：国土交通省四国地方整備局

工 期：2017年9月～2018年8月

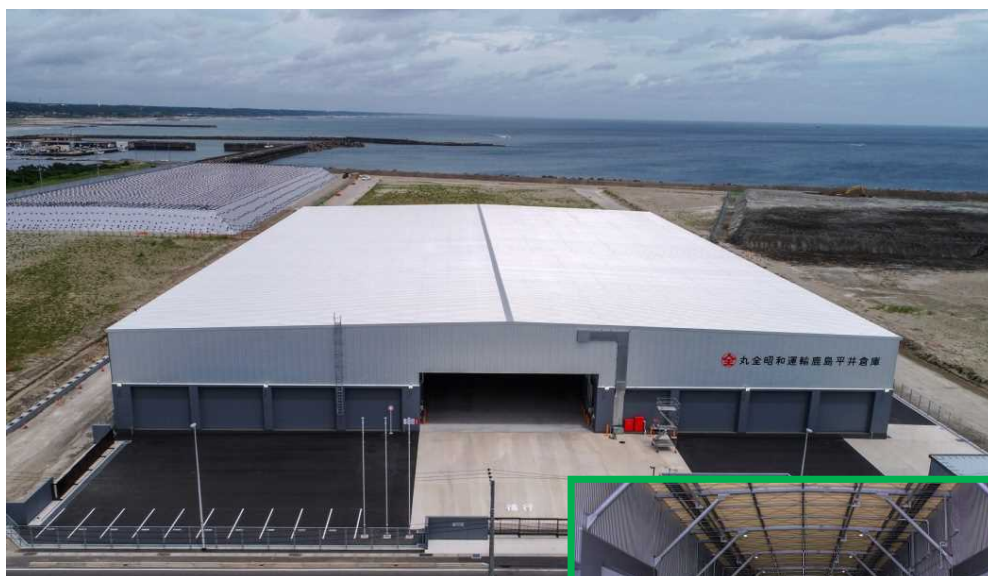
3⁻²). 2019年3月期 主な完成工事(建築)

■茨城県鹿嶋市に、指定可燃物倉庫が完成

工事名：丸全昭和運輸（株）指定可燃物倉庫建設
工事

発注者：丸全昭和運輸株式会社

工 期：2017年8月～2018年6月



■名古屋市に、大型冷凍冷蔵倉庫が完成

工事名：（仮称）ヨコレイ名港物流センター新築
工事（建設工事）

発注者：横浜冷凍株式会社

工 期：2017年6月～2018年11月

3⁻³). 2019年3月期 主な完成工事(海外)

■ベトナム電力公社の大規模発電所建設工事が完成

工事名：タイビン火力発電所土建工事（2×300MW）

発注者：丸紅株式会社

工 期：2014年3月～2018年4月



■国内埠頭から国際多目的埠頭への改修整備事業が完成

工事名：ポートビラ港ラペタシ国際多目的埠頭
整備計画

発注者：バヌアツ共和国公共事業省

工 期：2015年10月～2019年2月

4. 2019年 3月期 主な受注工事

事業区分	工事名	発注者名	施工形態	契約工期(自～至)	
国内土木	北海道新幹線、札幌トンネル(札幌)	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局	JV	2019年1月	2026年8月
	鹿島港外港地区南防波堤築造工事	国土交通省関東地方整備局	単独	2018年9月	2020年3月
	淀川左岸線(2期)1工区堤防整備他工事	国土交通省近畿地方整備局	単独	2018年9月	2021年2月
	小名浜港東港地区岸壁(-16m)(耐震)上部工事	国土交通省東北地方整備局	JV	2018年9月	2020年1月
国内建築	(仮称)東洋水産株式会社石狩物流センター新築工事	東洋水産株式会社	単独	2019年2月	2020年4月
	(仮称)こぶしえん新築工事	社会福祉法人 徳心会	単独	2018年11月	2021年1月
	(仮称)横浜冷凍株式会社子安物流センター新築計画	横浜冷凍株式会社	単独	2019年2月	2020年4月
	(仮称)新学校給食センター新築工事	京都府木津川市	JV	2018年12月	2020年2月
海外	パティンバン港開発事業フェイズ1パッケージ1:ターミナル工事	インドネシア共和国運輸省海運総局	JV	2018年10月	2020年11月
	第四次プノンペン洪水防御・排水改善計画	カンボジア王国 プノンペン都	単独	2018年12月	2021年10月

シンガポールで大規模コンテナバースの建設工事を受注

トウアス港第1期 コンテナバース(6バース)建設工事受注

当社は、P S Aコーポレーションリミテッドより
シンガポール国トウアス地区における
大規模コンテナバースの建設工事を受注しました。
本工事はトウアス港開発第1期建設工事の一部として、
下記を建設します。

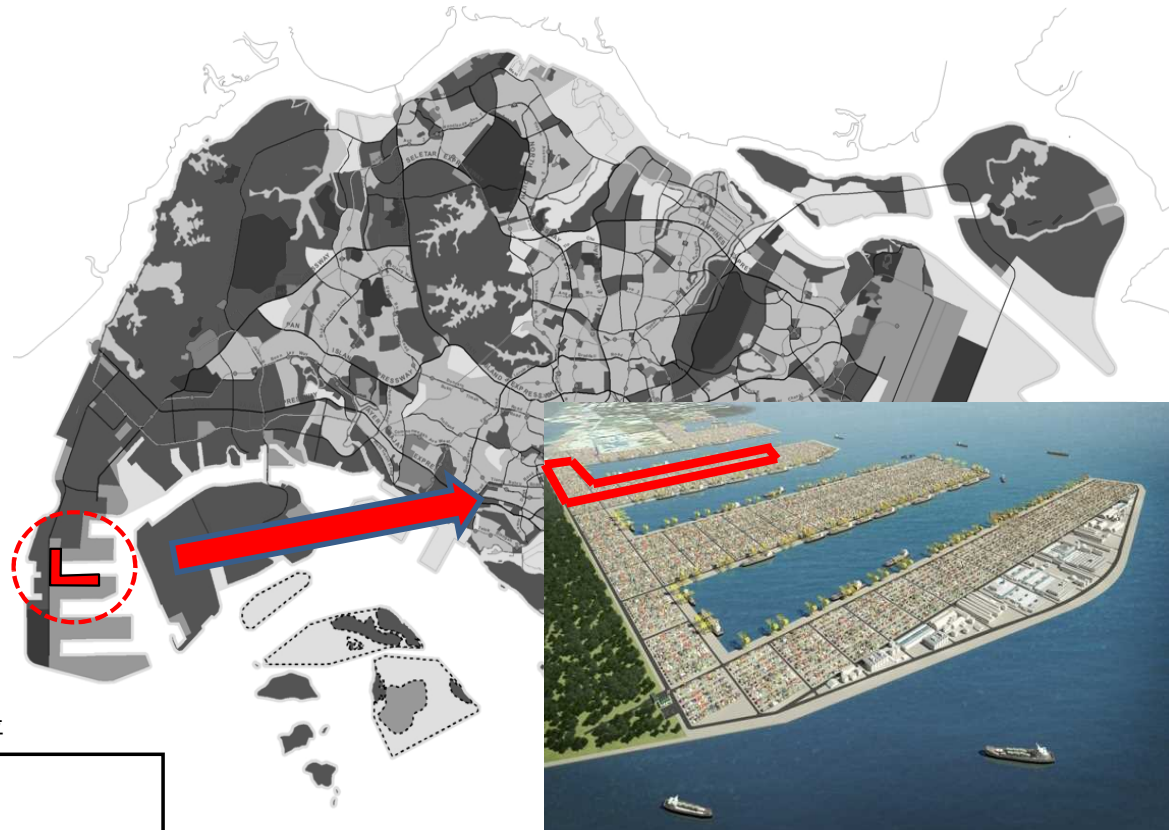
- ・ 6つ のコンテナバース
- ・ 120 ヘクタールのコンテナヤード

トウアス港は、今後20年をかけて段階的に建設が進められる計画となっており、全体の計画が完成した後は年間取扱量6,500万T E Uの世界最大の自動化コンテナ港となります。

※ T E U : 英語: Twenty-foot Equivalent Unit 20フィートコンテナ換算
コンテナ船の積載能力やコンテナターミナルの貨物取扱数などを示す単位

【工事概要】

工事名称:トウアス港第1期 コンテナバース(6バース)建設工事
発注者:PSAコーポレーションリミテッド(本社:シンガポール)
請負者:東亜建設工業株式会社
完成時期:2022年後半予定
(価格は非公表)



■ お問い合わせ先

〒163-1031
東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー 31F
東亜建設工業 株式会社
経営企画部広報室 北川 欽一
TEL:03-6757-3821
FAX:03-6757-3830

Yes! Harmony



この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。

将来の業績は、経営環境等の変化にともない、この資料に記載されている計画値とは異なる場合があることをご承知おきください。